



SHIKA-CHU IB Journey

鹿追中学校国際バカロレア通信



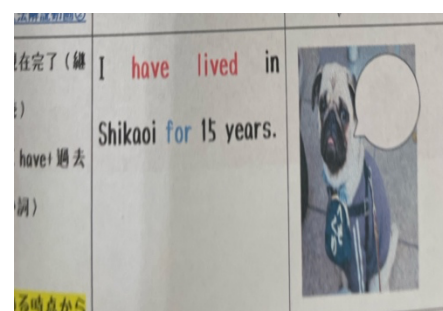
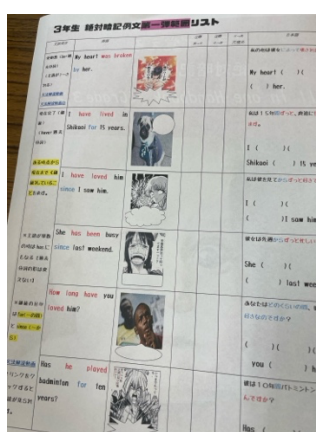
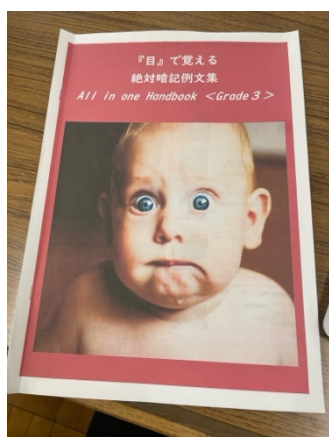
鹿追町立鹿追中学校
IBCO 奥平 和也
2025.5.22
Vol.27

仕事の本質

本校3年生のKくん。一年生の頃から休み時間になると「スクラッチ」というプログラミングのアプリをよく使っていました。私にはさっぱり理解できない世界です。

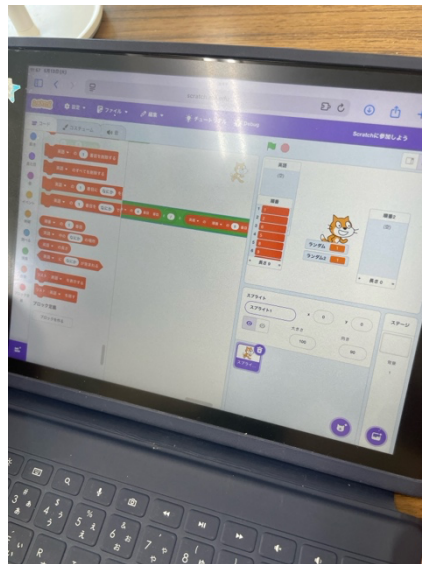
「継続は力なり」といいますが、一年生の時はまだ初歩的なプログラミングであったものが、年々明らかにいじっているもののクオリティが上がっているのです。満を持して私は彼にこんな発注をかけてみました。

私は英語科（IB では「言語の習得」といいます）の教諭なのですが、この写真のように英語の重要センテンスを冊子にして配っております。



かねてよりそれらのセンテンスの並び替え問題を子どもたちが
コンスタントに練習できるようにしたかったのですが、そういった
アプリを長年見つけられずにいたのです（製作者側が作った英
文での並び替えはあっても、こちらが任意のセンテンスで作れる
ものが意外とないのです。）。

それを、「・・・こうゆうのってできたりする？」と彼に頼ん
でみたら、なにやらすごいスピードで入力が始まり、、、



わずか1日で、、、このようなものが、、、動画をご覧ください。
い。

→[動画①](#) 【←リンクをタップしてご覧ください。】

「えーっ！？じゃ、じゃあ・・・ここがこうなると尚良い
のだけど・・・そこまではさすがに・・・難しいよね？」

それもまた、彼は自分で考えたり、インターネットで調べたりしながら次々と改良を重ねていきます。そしてとにかく、**速い**。

数日後には、こうなっておりました。→[動画②](#)

いかがですか？「度肝を抜かれる」とはこのことでした。

「彼の趣味」が「私のニーズ」とマッチして仕事になった瞬間です。立場上感謝しかお支払いできないのが申し訳ないですが、彼は既にココナラ等の世界で生きていけそうです。本当にスゴйнаあ。

さて、ここからがIBのお話です。

この様に、世の中にはあらゆるところに誰かや何かの「ニーズ・課題」が溢れています。そしてそれを「解決したり・解決をサポートしたりする」ということが「仕事」というものの本質です。

IBの学び、すなわち鹿追中学校での学びは子どもたちの課題解決能力を高めることに繋がられるよう設計されています。→（[生徒向けIBガイダンス動画](#)）（[生徒向けIBガイダンス資料](#)）

[生徒向けIBガイダンス動画](#)）（[生徒向けIBガイダンス資料](#)）

まとめ
①私たちは「課題解決能力」を
上げるために学んでいる。

②AI時代の課題解決には「思
考判断表現＝探究する」の力を
つけたい

③でもその授業作るのが超むずい
からIBから派遣された師匠の
元で先生方が修行をしている
【それがみんなに還元される！】



総括的評価課題②

《仮想の役割とシチュエーション（課題）》
が提示される

【これまでよく見られた光景…】

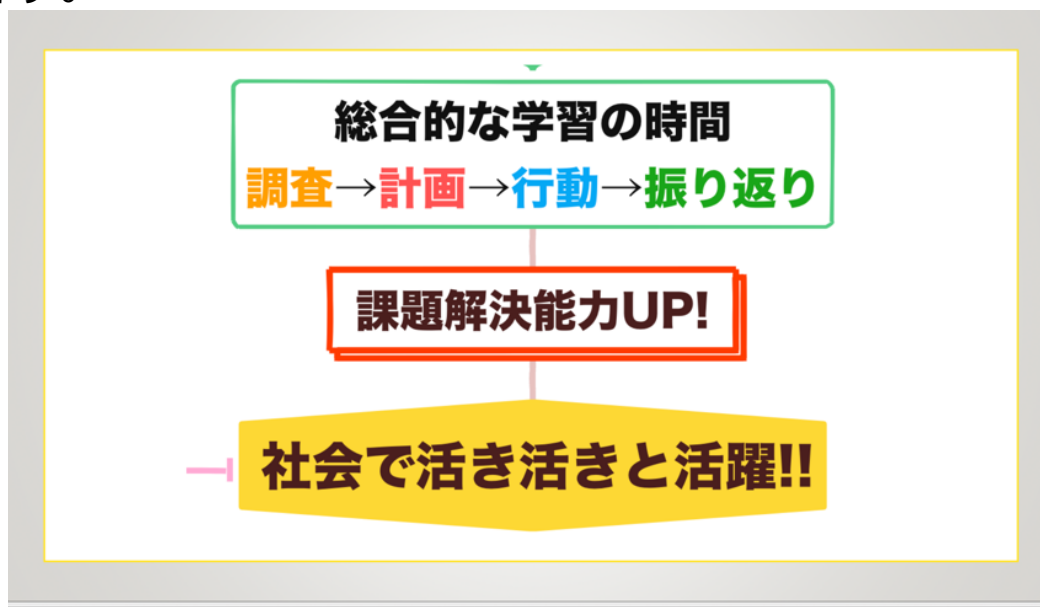
生徒：「えーこんなの勉強してなんの役に立つんですか？」
先生：「知らん！テストに出るから黙って暗記しなさい！」
これがなくなる！

そのため各教科の「総括的評価課題」には必ず「仮想の役割やシチュエーション」が設定されています。単元の学びを課題解決に活かす模擬練習をしているわけです。

そしてそうした日頃の学びを集結し、仮想ではなく実際の世の中のニーズや課題に挑むのが「総合的な学習の時間」です。

2年生では「**自分探究プロジェクト**」

3年生では「**コミュニティプロジェクト（CP）**」という取組がこの6月からスタートしていきます。どちらも身の回りの課題を自分で見つけ出し、その解決策について考えたり実行したりするものです。



Kくんが今回示してくれたのは「奥平のニーズ」に対して「自分の得意を活かす」といった解決方法ですが、それも数ある解決方法の内の代表的な一つといえるでしょう。

昨年度もこの授業でたくさんの面白い取組が展開されました。今年度も子どもたちが《自分の興味・関心》と《課題解決》をどのようにリンクさせていくのか、私も今から楽しみです。

※昨年度の取組に興味をお持ちいただいた方はこちらをご覧ください↓

<u>鹿中 IB 通信 NO.18</u>	2 学年の総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」の内容と目的について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO.15</u>	「コミュニティプロジェクト」についての説明と発表会の告知をしています。

最後まで目を通していただき、ありがとうございました。

バックナンバー2024	概要
<u>鹿中 IB 通信NO.1</u> ↑クリックするとアクセスできます。	この通信の趣旨や国際バカロレアとは何か？について書いています。
<u>鹿中 IB 通信NO.2</u>	年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。当日の動画や資料も見られます。
<u>鹿中 IB 通信NO.3</u>	こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた参観授業（国語）を IB 視点で解説しています。
<u>鹿中 IB 通信NO.4</u>	参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を《概念》と絡めて書いています。
<u>鹿中 IB 通信NO.5</u>	参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から《IB で知識の定着にかける時間が減る問題》に対する工夫について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO.6</u>	IB 教育の大きな柱である ATL スキルと 10 の学習者像とはこういったものかについて、道徳の授業実践を元に解説しています。

<u>鹿中 IB 通信 NO,7</u>	十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1 学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,8</u>	子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2 学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,9</u>	「SA」「CP」についての説明の前段としてのお話と、3 学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,10</u>	「SA」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,11</u>	「コンサルタント訪問」についての説明や面談に向けての生徒や保護者のみなさまとのやりとりについて書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,12</u>	「コンサルタント訪問」の実際の中身と主に生徒たちの面談での応答について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,13</u>	「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《前編》
<u>鹿中 IB 通信 NO,14</u>	「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《後編》

<u>鹿中 IB 通信 NO,15</u>	「コミュニティプロジェクト」についての説明と発表会の告知をしています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,16</u>	2 学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の内容と目的について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,17</u>	保護者懇談会の中身と生徒の総括的評価課題の成果物について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,18</u>	2 学年の総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」の内容と目的について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,19</u>	2 学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の発表会のお知らせをしています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,20</u>	「未来への提案」の発表会の動画と、「総合的な学習の時間と各教科学びの繋がり」について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,21</u>	「自分探究プロジェクト」の実践のひとつについてのご紹介と関係するイベントの告知をしています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,22</u>	IB に関する PTA 保護者のみなさまとの座談会の模様についてご紹介をしています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,23</u>	コンサルティング終了と認定に関しての取組について書いています。

<u>鹿中 IB 通信 NO,24</u>	実際に鹿追中学校が認定されたらどうなるのかについて書いています。
---------------------------------------	----------------------------------

バックナンバー2025	概要
<u>鹿中 IB 通信 NO,25</u>	この通信の主旨や既習事項のリサイクルについて書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,26</u>	2025 年度の IB 概要説明（生徒向け）の模様について書いています。当日の資料や動画もご覧いただけます。